



ふくおか 文化財だより

Vol.5 2016年10月号

縄文?弥生? 日本最古の水田発見! 板付遺跡



最古の水田 調査風景

いたづけ

板付遺跡 (博多区板付)

は、日本で最初に米作りが行われた遺跡として全国的に有名です。昭和53年に発見された水田跡から縄文時代終わりごろの土器が出土しました。当時は日

本最古の水田として新聞紙面を大いににぎわせ、米作りが弥生時代前期に始まったとされていた定説を見直すきっかけとなりました。今日では、板付遺跡の水田があった時期を、縄文時代の終わりではなく、弥生時代の始まりとする立場の研究者が増えています。

板付遺跡は、国の史跡に指定され「板付弥生のムラ」として、年間を通して色々なイベントを行っています。6月の「田植え祭り」で市民が植えた苗は黄金色に育ち、いよいよ実りの季節を迎えました。



昨年の秋祭りの様子

10月29日(土) 午前10時半より、稲の収穫を祝って「板付弥生のムラ 秋祭り」を開催します。稲刈り・脱穀体験のほか、餅つき・火起こし体験・竪穴住居体験・土器での米炊きなど、楽しい催しをご用意して、皆様のお越しをお待ちしています。

→コスモスの下には…

～ここにも遺跡！～ ^{のこ}能古A遺跡（^{のこのしま}西区能古島）

暑い夏も過ぎ去り、コスモスの季節がやってきました。福岡市内のコスモスといえば、能古島の自然公園「^{のこのしま}アイランドパーク」が有名です。その能古島に、古代の遺跡があ



一面のコスモス。遠くに志賀島が見えます。

ることはご存じでしょうか。実は、「アイランドパーク」全体が、能古A遺跡という遺跡の中に位置しているのです。

能古A遺跡はまだまだ謎が多い遺跡です。^{さきもり}防人*が置かれたとされる也良岬が近いこと

から、緊急事態を知らせるためののろし台の跡などが残っている可能性があります。今はまだ目に見える形で昔の息吹を感じることはできませんが、きれいな花の下に歴史を紐解く鍵が眠っているかも…と考えると、いつもと違うコスモス狩りが楽しめるかもしれませんね。

能古島はほかにも^{はやた}早田古墳群や、江戸時代の^{はんよう}藩窯だった能古^{のこ}焼古窯跡など文化財が数多く残されています。「福

岡市の文化財」ホームページでは、散策コース「能古島歴史ロマン散歩」を「文化財を見に行こう」のページで紹介しています。能古島の自然と歴史に触れて

みてはいかがでしょうか。

*防人：飛鳥～平安時代にかけて九州沿岸の防備のために設置された兵士およびその制度



→ 学芸員の卵たちがやってきました！

まいぞうぶんかざい
～埋蔵文化財センターだより～



制作した展示と実習生たち

埋蔵文化財センターでは、毎年8月に博物館学芸員資格の取得を目指す学生を受け入れ、約2週間の博物館実習を実施しています。当センターで資料の管理・活用の方法、遺物保存処理等について学んだ後、博多駅の地下にある展示スペース（通称えふギャラリー）を利用して、実習生たちが選んだテーマ・資料で実際に展示を作り上げます。

今年は8月16日から27日の期間で10名の大学生を迎えました。展示テーマは「你好！博多チャイナタウン!!」と「博多のじょうもんさん」の2つで、来年の8月まで1年間展示される予定です。実習生たちが企画、奮闘した展示をぜひご覧ください。

【展示場所】

博多駅地下連絡通路（博多駅～祇園駅間）の南東端（博多駅側）。最寄りの階段は博多駅博多口の「西7」出入口。



→重要文化財の内側 特別公開！

～多門櫓の保存修理工事 始まる～

福岡城唯一の国指定重要文化財である多聞櫓^{たもんやぐら}をご存じですか？百名城スタンプのデザインモチーフにもなっており、福岡城を代表する建造物ですが、福岡県



現在工事中の福岡城南丸多門櫓

西方沖地震や経年のため各所に傷みが生じていました。

このため今夏より多聞櫓の保存修理工事を行っています。

みなみすみやぐら^{ひらやぐら}南隅櫓を今年、平櫓を来年の2か年で修理する計画です。

工事期間中は隅櫓^{すみやぐら}付近の一部が立ち入りできなくなります。

多聞櫓工事の最新情報については「福岡市の文化財」

ホームページ

HP・Facebookにてお知らせいたしますのでご期待ください。

また、この工事期間だけの特別企画として、保存修理工事の様子を見学するツアーを下記のとおり企画しました。ぜひご参加ください。

<多聞櫓修理・扇坂発掘見学ツアー>

現在調査中である扇坂の発掘現場と重要文化財多聞櫓の保存修理工事を見学します。多聞櫓瓦記名会もあわせて行います。

- ・開催日 11月19日（土） 少雨決行（台風等荒天中止）
- ・時 間 午前9時30分受付開始
10時・11時・12時の3回出発予定
- ・参加方法 福岡城むかし探訪館前に集合（事前申込不要）
- ・問合せ 大規模史跡整備推進課（電話092-711-4784）

～埋蔵文化財発掘ミュージアム～

はこざき

→ 門前町を通る道？ 東区箱崎 箱崎遺跡

遺跡内初の道路を発見



道路跡を切断し
土層を確認しま
した

箱崎遺跡は10世紀以降、^{はこ}宮崎宮の門前町として栄えた歴史があります。町を構成する要素の一つに道路がありますが、今回の調査で遺跡内で初めて道路跡を発見しまし

た。道路を舗装するために地面をつき固めた^{こんせき}痕跡がはっきりと確認され、道路に伴う側溝もみつかりました。道路沿いには町屋が立ち並んでいたのでしょうか。興味深いのは、この道路が現在の通りと同じ方向にのびていることです。今回発見した道路は、江戸時代ごろに造られたものと思われます。今後、より古い時代の道路の発見が期待されます。

→ 中世のお墓のお供え物は…？

博多区
博多駅南
比恵遺跡群

博多駅の南に広がる比恵遺跡群では、約1100年前ごろ（平安時代の終わり）のお墓が見つかりました。地面に穴を掘りそこに遺体を安置して埋葬したもので、^{どこうぼ}土坑墓と呼ばれています。現代でもお墓に花や故人が生



土坑墓で食器が2点出土

前好きだったものを供えることがあります。が、今回見つかったお墓でも^{すや}素焼きの食器が見つかっていて、死者にお供えをしたものと考えられま

※いずれの発掘調査も終了し、遺跡はすでに埋め戻されています。紹介した出土品は整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行したのちに埋蔵文化財センターに収められ、閲覧や展示に活用されます。

す。食器には何が供えられていたのでしょうか。

→ 10・11月のイベント情報

10月

- 1・4・8・9日 能古島白鬚神社おくんち行事 (西区能古)
(市指定無形文化財)
- 9日 飯盛神社流鏝馬行事 (西区大字飯盛)
(市指定無形民俗文化財)
- 15日 ~~田島夜神楽~~ (城南区田島4 ~~田島八幡神社~~)
※中止になりました (市指定無形民俗文化財)
- 16日 今津人形芝居 (西区西都2 西部地域交流センター)
(県指定無形民俗文化財)
- 16日 香椎宮奉納獅子楽 (東区香椎4)
(県指定無形民俗文化財)
- 22日 埋蔵文化財センター考古学講座 第5回
「先人のおもいを、壁画にたどる」講師：石山 勲氏
- 23日 一朝軒伝法竹 (博多区御供所町6 西光寺)
(県指定無形民俗文化財)
- 29日 板付弥生のムラ「秋祭り」 (博多区板付3 板付遺跡)

11月

- 19日 埋蔵文化財センター考古学講座 第6回
「古代の人形、その信仰と系譜」講師：笹生 衛氏
- 19日 多門櫓修理・扇坂発掘見学ツアー (福岡城跡)

福岡市経済観光文化局文化財部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1

TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・整備・活用に関すること

文化財保護課 TEL: 092-711-4666

福岡城跡と鴻臚館跡に関すること

大規模史跡整備推進課 TEL: 092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課 TEL: 092-711-4667

埋蔵文化財センターに関すること

埋蔵文化財センター TEL: 092-571-2921

ホームページ「福岡市の文化財」

<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも
情報発信中！

